

**国府津地区舗装工事において、「見積りを活用する積算方式」「難工事指定」を試行します**

**記者発表資料**

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が多発しています。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りを活用する積算方式』と『難工事指定』を試行します。

本工事は、交通量が多い現道上で夜間、片側交互による車線規制をしながらの工事であることから、車道・歩道利用者への影響が大きく、施工に伴い作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、過去の同種工事の実績により標準的な積算との剥離が予想される工種により選定しています。また、通常の工事と比較して施工条件が厳しく作業効率が悪い工事を一定以上の工事成績で完成させた場合に、「難工事施工実績評価対象工事（試行）」において、総合評価項目に「難工事施工実績あり」として加点対象とする「難工事指定」の試行対象工事としました。

平成 20 年 12 月 19 日（金）

国土交通省 関東地方整備局 企画部 技術管理課・技術調査課  
横浜国道事務所

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

**問い合わせ先**

国土交通省関東地方整備局

技術管理課	建設専門官	あらい 新井 正	（電話048-600-1331）	} 見積もりを活用する 積算方式について
技術調査課	課長補佐	あさこ 浅古 勝久	（電話048-600-1332）	

横浜国道事務所 電話 045-311-2981（代）

計画課長	とがわ 外川 和彦	（内線261）	} 対象工事の内容につ いて
道路工事調整課長	またし 俣島 信一	（内線481）	

《見積りを活用する積算方式の工事概要》  
(国府津地区舗装工事)

- (1) 工事名 : 国府津地区舗装工事
- (2) 工事場所 : 自) 神奈川県小田原市国府津2丁目  
至) 神奈川県小田原市小八幡3丁目
- (3) 工期 : 平成21年2月から平成21年7月31日まで(予定)
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式(標準Ⅱ型) 施工体制確認型
- (5) 工事種別 : 維持修繕
- (6) 工事内容(概要) : 工事延長 L=571m  
車道打換工 約4,500m<sup>2</sup>  
歩道舗装工 約2,600m<sup>2</sup>  
道路付属施設工 1式
- (7) 見積りの提出を求める工種  
・直接工事費(舗装工、土工、撤去工、道路付属施設工)に係わるもの。
- (8) 見積の提出を求める理由  
本工事は、国道1号と県道松田国府津線が交わる交通量が多い親木橋交差点で車道及び歩道舗装等を行う工事です。  
施工にあたっては、現道上を交通規制し車道・歩道利用者への影響をできるだけ軽減しながらの施工が必要であり、また夜間での現道上の施工となることから作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、「見積りを活用する積算方式」を試行するものです。
- (9) スケジュール  
○入札公告:平成20年12月19日  
○入札日:平成21年 2月 6日